

開発建設部



那覇港沖水中観賞

七月十八日(日)「海の日フェア」を開催しました。(主催…那覇港管理組合、共催…内閣府沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所)

大型水中観賞船オルカ号に一般公募の市民を乗せ、海上より那覇港周辺の防波堤・岸壁等の施設や整備について紹介し、防波堤の沖側で珊瑚の水中観賞を行いました。

一日二回運航、時間は左記の通りで行いました。

午前の部
11:30～13:00(乗船数 百五十一名)

午後の部
14:00～15:30(乗船数 百四十名)



那覇港港湾施設パネル展示

同日、オルカ号の発着場となった、とまりん2Fでは、戦前から現代までの那覇港の歴史と現在整備中の沈埋トンネル、那覇港における珊瑚をパネル展示にて説明しました。

当日の天候は快晴、波も穏やかであつたせいか、乗船された皆様からのアンケートからは珊瑚に群がる魚と陽の光が綺麗だった「子供たちと一緒に参加出来てとても良かった」「もっとこのような企画があつたらいいな」等の方の感想を戴きました。

このようなイベント行事を行うことによって多くの人が那覇港について関心を持っていただき、みなにもっともっと親しみを持ってもらえたらと思います。



大勢の参加者

「海の日」は平成八年より、海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」として、七月二十日を国民の休日として制定、平成十五年からは七月の第三月曜日となり、三連休化されることになりました。「みなとフェスタ」は宮古島の海の玄関口である平良港ウォーターフロントにおいてまつりを開催し、人々が海に集うことにより、海の日を祝い、そして海に帰ろうという趣旨で開催しています。

シーカヤックの体験乗船コーナーでは、親子連れが列を作り、講師やスタッフから漕ぎ方など指導を受けて、十五分から



水上バイク

型バズルの無料サービスや木製模大好評で、親子連れらが木陰でひと休みし、かき氷やパズルを楽しんでいました。イベントの当日は心配していたハブクラゲなどによる事故も無く、イベントも大勢の子どもの歓声が響いて大盛況でした。



水中宝探しゲーム

三十分程度の海上散歩を楽しんでいました。最初はやや緊張気味の子供達も慣れるにつれパドルさばきも上手くなり元気いっぱい笑顔を見せていました。



シーカヤックを楽しむ参加者たち

七月十八日(日)「海の日」の記念イベント、「みなとフェスタ 二〇〇四 in 平良港」主催・同実行委員会 共催・平良港湾事務所が平良市内のパイナガマビーチで開催されました。

照りつける真夏の太陽の中、訪れた多くの親子連れが、暑さを忘れて、シーカヤックと水上バイクの体験乗船、宝探しゲームなどのマリッジを満喫しました。



「みなとフェスタ 二〇〇四 in 平良港」開催!